

サクシードシチー SUCCEED CITY

募集中

1口価格：30,000円(税込)

2401 ザフラッツの2024

牡 栗毛 4月5日生

生産：飛野牧場

父 ロジャーパローズ 母の父 Giant's Causeway

美浦・伊藤圭三厩舎予定

馬体重：502kg 前月より-16kg
体高：158cm 胸囲：186cm 管囲：20.4cm

加藤ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

厩舎の調教パターンにも難なく対応できそうな好馬体、大人びて見える所作にも頼もしい将来性を感じる。

屋根付き馬場での集団調教、7頭もいますが、従順に動くことができていますね。近況レポートにもあるように、ポジションを変更することはすごく大切で、自分から動く気持ちのない馬は前列に出ていくと走ることができないものですが、そこもしっかりと対応していますし、むしろ自分から他を引っ張っていくような走りにも見えます。運動が終わった後も横木(おうぼく)の間にしっかり駐立することができていて、少々の動きでは乱れていないことを示してくれています。また、ゲート内での駐立もしっかり。隣の馬が暴れていても、それに釣られるようなところはありません。ゲートの出も標準で仕掛けてからの反応は上々。これならトレセンでのゲート試験に時間をかける必要はなさそうですし、気性的にはとても真面目なタイプなのだろうなという想像ができました。ただ、馬場での走りを見てみると、まだまだ非力な面が見られます。馬体を見ると、もっと力強く、安定した走りをして欲しいなという気がします。もちろん、2歳3月ならこのくらいの動きでも全く問題なく、いろんな所作が大人びているように思うからこそ、馬体の成長があれば、早い時期から大きな舞台でも活躍してくれそうなイメージが膨らんでいきます。500キロを超える馬体重ですから、トレセンに入ってもバリバリと鍛える調教を課しても問題ないはず。そういった調教パターンで数々の重賞ウイナーを輩出してきた伊藤圭三厩舎ですから、むしろトレセンに入ってから成長が期待できるかも知れません。

エリアナ ELIANA

募集中

1口価格：20,000円(税込)

2402 ロジーナの2024

牝 黒鹿毛 2月20日生

生産：幌村牧場

父 イスラボニータ 母の父 キズナ

美浦・池上昌和厩舎予定

馬体重：455kg 前月より±0kg
体高：155cm 胸囲：181cm 管囲：19.5cm

吉澤ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

品の良さが目立つ馬体はシンボリクリスエスの血を想起、悲願の重賞タイトルへ厩舎との相性も良さそうだ。

母ロジーナは佐々木晶三厩舎で管理されてこともあって、すごく記憶に残っています。その初仔ということでどんな馬なのだろうと注目していましたが、まず馬体の立ち写真を見た時に「品がある」という印象を受けました。母に品がなかったかというところという訳でもないのですが、キズナの血が色濃く出たパワータイプ。それに比べるとシンボリクリスエスの血が出てきたのかなという位のきれいなバランスに見えました。走っているところに関しては屋根付き走路だったので、なんとなくでしか判断できませんが、きっとバランスよく走ることができているのかなという印象でした。近況レポートの馬体重は455キロでしたが、母のデビュー時もそのくらいの馬体重、初仔ということを考えて、競馬の時に同じくらいの体重であれば、問題ないのかなという感じです。父イスラボニータの産駒で言えば、コスタボニータに似ているのかなとイメージします。コスタボニータは454キロでデビューして、5歳時に福島牝馬Sで重賞を制覇。母が遅咲きだったように、本馬もいきなりというよりは息の長い活躍が期待できるようなタイプなのではないでしょうか。管理予定の池上昌和厩舎は6歳牝馬で福島記念を勝ったハウオウエミューズ、同じく6歳牝馬で小倉牝馬Sを勝ったシンティレーションを管理したように古馬牝馬に実績のある厩舎。そのあたりもうまく噛み合ってくれば、母が果たすことのできなかった重賞制覇も夢ではありません。

リアンドロンド LIEN DE LONDRES

募集中

1口価格：16,000円(税込)

2403 リアンシチーの2024

牝 鹿毛 5月4日生

生産：幌村牧場

父 タワーオブロンズ 母の父 ディープインパクト

美浦・栗田徹厩舎予定

馬体重：422kg 前月より+7kg
体高：153cm 胸囲：178cm 管囲：19.5cm

シュウジデイファーム在厩

井内利彰の調教動画診断

サイズ感を凌駕する動きの良さに母系の絶対的な資質、パンプアップしていく課題をクリアすれば大化けできる。

屋内馬場での集団調教で他馬と比較すると、どうしても小さく見える馬体。これは母リアンシチーだけでなく、姉たちも410キロ程度でのデビューだったので、この血統の宿命とも言える部分だと思います。しかしながら、動き自体は活発。コンパクトだからこそ、脚捌きの回転が速く、機敏に動くことができていますと評価できます。もともとのフレームが小さいので、ここから大幅に馬体重が増えてくることはないでしょうが、もう少し胸まわり、トモまわりがパンプアップされてくると重厚感ある走りができそう。それがタワーオブロンズ産駒のパンジャタワーやレイピアといった馬たちに通じるスプリンターとして活躍するための資質になってくると思います。近況レポートには「時計を出し過ぎないように」とあるのは納得。前向きさも十分ありそうですから、やればいくらでも走るといったタイプなのでしょう。母ディープの素軽いところもありますし、スピードとパワーのバランスは絶妙ではないでしょうか。あとは牝馬だけに調教を進めていってもしっかりと飼葉を食べてくれることが重要になりそうです。姉フェリキタスの調教診断では気性面についての心配を記していましたが、本馬に関しては現時点の2歳にありがちな素振りを見せるだけで、走っている最中に気になるところはなく、むしろ集中して走ることができているなという印象を受けました。

シュバリエシチー CHEVALIER CITY

募集中

1口価格：30,000円(税込)

2432 ラフィネシチーの2024

牡 鹿毛 4月23日生

生産：幌村牧場

父 ルヴァンスレーヴ 母の父 ゴールドアリュール

栗東・岡田稲男厩舎予定

馬体重：453kg 前月より+7kg
体高：154.6cm 胸囲：173cm 管囲：20.1cm

武田ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

坂路を力強く駆けあがるパワフルさに血統的な長所、成長とともに四肢のバランスを整えばブレイクできる。

歩く姿を見て感じたことは頭が高いということ。それに加えて、少し落ち着きがないタイプなのかなという、あまり良い印象を持ちませんでした。ただ、馬体に関してはすごく見映えがして、胴はやや短めであるものの、父ルヴァンスレーヴ、母父ゴールドアリュールの血が色濃く出ているのかなという艶感でした。屋内馬場でのキャンターはカーブでも重心がしっかりとした走り。歩きのウィークポイントは薄くなっていきます。そして、坂路を駆け上がってくる姿は力強さがあって、かなりしっかりしています。後肢がまとまりある着地なので、推進力が逃げていかないところに良さがありそうですが、それをしっかりと前肢で受け止めることがまだできていないのかなという感じ。調教動画を見た印象では左前肢はなかなか力強く後ろと連動できそうな感じですが、右前肢がもう少し力強くなって欲しいところ。この映像を見たところでもう一度、馬場へ入っていくところ、馬場から厩舎へ戻るところの歩きを確認すると、やっぱり右前肢が少しスムーズではないのかなという感じです。ボリューム感のある馬体の持ち主ですから、それをうまく走る力へ変換するためには四肢のバランスがすごく重要になってきます。でもこれは調教などでいくらでも進歩しますが、馬体に関しては生まれ持った素質。近況レポートでは飼葉食いも良好とのことですから、このまま馬体重がどんどん増えて欲しいもの。あとはこの兄妹を知り尽くしている岡田稲男厩舎なら、うまく調教して育ててくれるでしょう。

ウィザードシチー WIZARD CITY

募集中

1口価格：28,000円(税込)

2433 ハニーウィルの2024

牡 鹿毛 2月8日生

生産：中村雅明

父 チュウワウィザード 母の父 ヘニーヒューズ

栗東・北出成人厩舎予定

馬体重：480kg 前月より+3kg
体高：160cm 胸囲：183cm 管囲：20cm

アクティファーム在厩

井内利彰の調教動画診断

半姉ロイヤルウィル同様に力強い動きが能力を証明、ステップアップできそうな素質に厩舎も期待している。

半姉ロイヤルウィルの調教診断で、タワーオブロンズ産駒らしく馬体のボリュームが素晴らしいというところを強調させてもらいました。ただ、2歳8月の新馬戦が4着、その後も未勝利で2着が4回ありながら勝ち上がることができませんでした。この成績なら当時の調教診断は間違っていなかったのではないかなと思いますし、そこを確認した上でロイヤルウィル同様、馬体は強調しておきたいと思います。少し肢が短いかな、腹回りがしっかりしているかなという体型もロイヤルウィルっぽさがありますね。屋内馬場でコーナーを回っていく時に手前を替えて加速していく姿には走り慣れている、順調な調整過程が想像できますし、少し頭を下げて走るあたりにスピードが武器になってくることをイメージさせてくれます。坂路での駆け上がりも力強さがあって、右と左のバランスも上々。これに関してロイヤルウィルの時に同じようなことを書いた記憶があったので、自分が保存しているテキストを確認したら、まさにその通りでした。父チュウワウィザードのイメージだと中距離が合いそうですが、母ハニーウィルからはしっかりとスピードを受け継いでいる感じがあるので、ロイヤルウィルでは少し長かったかなというマイルあたりがベストになりそうな気がします。管理予定の北出成人調教師も相当期待しているようなので、トレセンに入れば、まだまだステップアップしていきそうな奥行きも見えるはずですよ。